

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月28日

上場会社名 株式会社 シンプレクス・テクノロジー
 コード番号 4340 URL <http://www.simplex-tech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

(氏名) 金子 英樹
 (氏名) 澤田 正憲

TEL 03-3278-6750

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	8,109	—	1,272	—	1,236	—	723	—
20年3月期第3四半期	4,868	15.7	1,095	39.6	1,099	38.1	615	30.3

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	1,306.77	1,265.84		
20年3月期第3四半期	1,057.73	1,023.73		

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	7,619	3,515	4,224	4,224	45.7	6,359.91	6,359.91	
20年3月期	7,429	4,224	4,224	4,224	56.6	7,327.91	7,327.91	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 3,484百万円 20年3月期 4,208百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	210.00	210.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	260.00	260.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	11,500	41.5	2,510	20.6	2,500	20.5	1,475	19.5	2,568.14	2,568.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、「定性的情報・財務諸表等」4その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
詳細は、「定性的情報・財務諸表等」4その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	589,955株	20年3月期	589,945株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	42,005株	20年3月期	15,599株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	553,483株	20年3月期第3四半期	581,784株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想には、様々なリスクや不確実性を内包しており、経済環境の変化等により、

実際の業績はこれらの見通しから異なる結果となる可能性がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控え下さい。

2・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用方針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

i. 当社の当第3四半期連結累計期間は、下記となりました。

連結売上高	8,109,998 千円	(前年同四半期比 66.6%増)
連結営業利益	1,272,225 千円	(前年同四半期比 16.1%増)
連結経常利益	1,236,877 千円	(前年同四半期比 12.5%増)
連結純利益	723,273 千円	(前年同四半期比 17.5%増)

当期経営成績の先行指標となる受注残高は、7,093,462千円(前年同四半期末比12.4%増加)です。

ii. 当社の当第3四半期連結会計期間は、下記となりました。

連結売上高	2,708,387 千円
連結営業利益	311,494 千円
連結経常利益	322,047 千円
連結純利益	195,659 千円

iii. 当第3四半期連結累計期間の連結経営成績については、下記の通りになります。

- 当四半期は、FX取引システムを中心としたインターネット取引システムの売上が牽引し、業績は売上高・利益ともに過去最高の水準で好調に推移しました。特にUMS(導入)の売上が、1,244,344千円(前年同四半期169,565千円)と増収に大きく貢献しました。また、継続型の収入であるUMS(サービス)の売上が、1,669,586千円(前年同四半期786,294千円)と順調に拡大しました。その結果、連結売上高は、前年同四半期比66.6%増の8,109,998千円(前年同四半期4,868,098千円)となりました。

一方で、利益面においては、将来への布石として研究開発費を予算比344,217千円増額し、754,217千円(前年同四半期250,126千円)支出したことから、売上高に比べて利益の増加率が小さくなり、連結営業利益は、1,272,225千円(前年同四半期1,095,666千円)となりました。

- インターネット取引システムの売上が対前年同四半期比で2.7倍以上となり大きく増加しました。特に、個人投資家向けを中心に大きく市場が伸びているFX取引システムについては、ソニー銀行、マネーパートナーズに販売するなど好調に推移しました。また取引所FX取引システムである大証FX(仮称)の受注をきっかけに一段と引き合いは強まっており、当該分野におけるトップシェアのシステムとして強い競争力を保っていると認識しています。
- ディーリング分野においては、当期は大型案件はありませんでしたが、メガバンク向けを中心に安定的に売上を拡大することができました。メガバンクにおけるフロンティア領域へのIT投資は統合処理の進展に伴って好調に推移しており、今後も継続的な売上拡大を目指します。
- 売上総利益率は、44.3%(前年同四半期)から39.9%(当四半期)に低下しました。主な低下の要因として、システムインテグレーションとシステム保守の2つの要因があげられます。システムインテグレーションに関しては、当初計画以上の開発工数がかかった案件について、今後の追加工数を考慮して仕掛品評価損を計上した影響によるものです。また、システム保守に関しては、前年同四半期において好調だった保守の利益率が、当期は想定どおりの水準に落ち着いたことによるものです。
- 販売費及び一般管理費が1,959,637千円(前年同四半期1,059,949千円)に増加しております。これは、UMS事業の積極展開に伴って、研究開発費が754,217千円(前年同四半期250,126千円)に増加したことが主な要因です。また、採用活動の強化に伴い、採用関連費用及び新卒社員にかかる研修費用が増加しております。この結果、売上高に対する販売費及び一般管理費の比率が21.8%(前年同四半期)から24.2%(当四半期)に増加しています。
- 当四半期末における受注残高は7,093,462千円(前年同四半期末比12.4%増加)となり、当期の受注状況は順調に進捗しております。うち当期計上予定額は3,017,626千円であり、当四半期終了時点で期初に計画していた通期連結業績予想売上高10,500百万円を達成することが確実なため、本日付で通期連結業績予想を上方修正いたします。なお、利益に関しては、来期以降の成長への布石として研究開発費を増額するため、期初計画通りといたします。通期売上高の達成に向けて、受注残高の積み上がりは極めて順調な状況ではありますが、最終的な顧客への納品を期末までに着実に遂行することで、確実な当期見込業績の達成を目指します。
- サブプライム問題に端を発する金融市場の混乱の影響につきましては、第2四半期に受注高が第1四半期と比較して落ち込んでいたものの、当四半期に入り受注高は盛り返しており当期の受注活動への影響は限定的と考えております。しかし、今後受注高に影響が生じる可能性があることを認識し、来期以降の金融機関のIT投資動向を注視し、積極的な提案活動等による案件の掘り起こしを進めます。

なお、対前年増減比率は参考値となります。

① 売上の製品種類別の概況

	前年同四半期		当第3四半期		増減 (千円)
	売上 (千円)	利益率 (%)	売上 (千円)	利益率 (%)	
システムインテグレーション	2,329,140	39.3%	2,885,322	35.5%	556,182
システム保守	946,583	64.2%	1,205,043	53.7%	258,459
UMS (導入) * 1	169,565	27.1%	1,244,344	43.2%	1,074,779
UMS (サービス)	786,294	58.3%	1,669,586	49.9%	883,292
その他 * 2	636,514	20.2%	1,105,701	17.2%	469,186
総合計	4,868,098	44.3%	8,109,998	39.9%	3,241,900

* 1 UMSとは、Universal Market Serviceの略で、顧客の収益等にリンクした形の契約となっているサービス全般を指します。

* 2 大半がハードウェアなどの物品販売によるものであります。

② 売上の分野別の概況

	前年同四半期売上 (千円)	当第3四半期売上 (千円)	増減 (千円)
ディーリングシステム	2,224,378	2,646,642	422,264
CRM/SFAシステム	511,748	238,616	△273,132
インターネット取引システム	1,495,456	4,119,038	2,623,581
その他	636,514	1,105,701	469,186
計	4,868,098	8,109,998	3,241,900

2. 連結財政状態に関する定性的情報

i 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、7,619,702千円（対前年同四半期末比1,675,869千円増加）となりました。主に、長期借入金に伴う現金及び預金が999,769千円増加し、さらにUMS事業に利用する器具備品が増加したことによるものです。

また、負債合計が、4,104,586千円（対前年同四半期末比1,894,568千円増加）となりました。これは主に短期・長期借入金が合計1,475,000千円増加したことによるものです。主な用途は、当四半期までの自己株式取得（1,156,421千円）となります。

また、純資産合計は3,515,115千円（対前年同四半期末比218,699千円減少）、自己資本比率は45.7%（前年同四半期末は62.6%）となりました。自己株式1,156,421千円を取得したことに伴い純資産が減少し、その資金として借入金による調達を実施したため、自己資本比率が低下しております。しかし、自己資本比率は依然として高く、安定的な財務バランスを保っていると分析しております。

その他の特記すべき事項はありません。

ii キャッシュフローの状況

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ、397,023千円減少し、当四半期末には2,384,917千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、160,855千円の資金取得（前連結会計年度末2,003,318千円の資金取得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を1,235,793千円、減価償却費（無形固定資産償却費含む）を258,442千円計上したことから資金を得たこと。さらに、棚卸資産の増加額523,604千円及び、法人税等の支払額897,527千円による資金の減少を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、781,704千円の資金使用（前連結会計年度末1,089,595千円の資金使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得により403,757千円、長期前払費用の増加額99,544千円、敷金保証金の支払が186,779千円発生したことによる資金の減少を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、229,999千円の資金取得(前連結会計年度末464,119千円の資金使用)となりました。これは主に、借入金増加として1,500,000千円の資金を得た一方で、自己株式の取得による支出1,156,421千円、配当金の支払119,961千円が発生したことによる資金の減少を反映したものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(1) 業績予想

当第3四半期終了時点で、平成20年5月13日に発表した平成21年3月期の業績予想の達成が確実な状況になったため、本日付で通期業績予想売上高を11,500百万円に上方修正いたします。なお、利益に関しては、来期以降の成長への布石として研究開発費へ追加投資を行うため期初計画通りといたします。

(2) 受注残高(連結ベース)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	受注残高		うち当期計上予定分	
	百万円	%	百万円	%
平成21年3月期第3四半期	7,093	(12.4)	3,017	(△7.9)
平成20年3月期第3四半期	6,308	(62.4)	3,276	—
(参考)平成20年3月期	5,608	(43.9)	—	—

(注)1. 保守等の継続契約については、1年以内に売上が計上されることが確実な受注のみを受注残高としております。

2. UMS(サービス)売上につきましては、通常、固定売上+インセンティブ売上となっておりますが、固定売上部分のみを受注残高としております。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,384,917	2,781,941
売掛金	791,321	1,078,860
仕掛品	1,030,774	507,170
繰延税金資産	56,000	56,000
その他	124,892	71,361
流動資産合計	4,387,906	4,495,333
固定資産		
有形固定資産	714,046	519,741
無形固定資産	171,615	160,358
投資その他の資産		
投資有価証券	1,388,028	1,687,676
長期前払費用	109,366	10,625
敷金及び保証金	629,425	442,646
保険積立金	2,039	1,747
繰延税金資産	105,628	—
その他	111,644	111,644
投資その他の資産合計	2,346,133	2,254,340
固定資産合計	3,231,795	2,934,439
資産合計	7,619,702	7,429,773
負債の部		
流動負債		
買掛金	846,173	718,713
短期借入金	700,000	200,000
未払金	247,480	727,052
未払費用	17,803	69,927
未払法人税等	139,332	524,340
前受金	51,822	223,629
賞与引当金	340,431	—
役員賞与引当金	69,000	—
その他	17,543	51,652
流動負債合計	2,429,586	2,515,314
固定負債		
長期借入金	1,675,000	675,000
繰延税金負債	—	14,788
固定負債合計	1,675,000	689,788
負債合計	4,104,586	3,205,103

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	368,480	368,265
資本剰余金	294,636	316,685
利益剰余金	4,655,589	4,052,928
自己株式	△1,710,551	△582,346
株主資本合計	3,608,155	4,155,533
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△119,911	53,371
為替換算調整勘定	△3,329	△151
評価・換算差額等合計	△123,240	53,220
新株予約権	30,156	15,871
少数株主持分	45	45
純資産合計	3,515,115	4,224,670
負債純資産合計	7,619,702	7,429,773

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	8,109,998
売上原価	4,878,135
売上総利益	3,231,863
販売費及び一般管理費	1,959,637
営業利益	1,272,225
営業外収益	
受取利息及び配当金	19,676
雑収入	430
営業外収益合計	20,107
営業外費用	
支払利息	18,683
為替差損	332
持分法による投資損失	35,947
雑損失	491
営業外費用合計	55,455
経常利益	1,236,877
特別損失	
固定資産除売却損	1,083
特別損失合計	1,083
税金等調整前四半期純利益	1,235,793
法人税、住民税及び事業税	512,519
法人税等合計	512,519
四半期純利益	723,273

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,235,793
減価償却費	208,368
受取利息及び受取配当金	△19,676
支払利息	18,683
為替差損益(△は益)	2,996
持分法による投資損益(△は益)	35,947
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,083
無形固定資産償却費	50,073
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	69,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	340,431
売上債権の増減額(△は増加)	287,538
たな卸資産の増減額(△は増加)	△523,604
仕入債務の増減額(△は減少)	127,460
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△532,346
前受金の増減額(△は減少)	△171,806
その他	△72,552
小計	1,057,389
利息及び配当金の受取額	19,676
利息の支払額	△18,683
法人税等の支払額	△897,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	160,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△403,757
無形固定資産の取得による支出	△61,331
投資有価証券の取得による支出	△30,000
敷金及び保証金の差入による支出	△186,779
長期前払費用の取得による支出	△99,544
その他	△291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△781,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	600,000
短期借入金の返済による支出	△400,000
長期借入れによる収入	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△200,000
株式の発行による収入	6,382
自己株式の取得による支出	△1,156,421
配当金の支払額	△119,961
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,174
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△397,023
現金及び現金同等物の期首残高	2,781,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,384,917

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間において、当社グループはすべて同一セグメントである情報サービス業に属するシステム受託開発、パッケージ商品、これらに伴う保守作業を行っております。

よって、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間において、本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間において、海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期までに自己株式1,156,421千円を取得したことにより、純資産が減少しております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期連結累計期間 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	4,868,098
II 売上原価	2,712,481
売上総利益	2,155,616
III 販売費及び一般管理費	1,059,949
営業利益	1,095,666
IV 営業外収益	27,814
V 営業外費用	24,064
経常利益	1,099,417
VII 特別損失	27,045
税金等調整前四半期純利益	1,072,371
法人税、住民税及び事業税	457,188
少数株主損失	△185
四半期純利益	615,368

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
	システムインテグレーション (千円)
システム保守 (千円)	557,772
UMS (導入) (千円)	874,364
UMS (サービス) (千円)	822,984
その他 (千円)	922,158
合計 (千円)	5,401,739

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
システムインテグレーション	3,036,402	1,864,437
システム保守	1,370,154	1,556,478
UMS (導入)	1,487,525	1,338,001
UMS (サービス)	2,604,354	2,168,079
その他	1,096,446	166,466
合計	9,594,883	7,093,462

- (注) 1. 保守等の継続契約については1年以内に売上が計上されることが確実な受注のみを受注残高としております。
2. 金額は販売価格によっております。
3. UMS (サービス)につきましては、通常、固定売上+インセンティブ売上となっておりますが、固定売上部分のみを受注残高としております。
4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
	システムインテグレーション (千円)
システム保守 (千円)	1,205,043
UMS (導入) (千円)	1,244,344
UMS (サービス) (千円)	1,669,586
その他 (千円)	1,105,701
合計 (千円)	8,109,998

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。